

(令和元年5月試験研究業務月報)

試験研究課題：丹後地域における産地強化のための果樹複合経営の確立

研 究

## 京のブランド産品「ゴールド二十世紀」の秀品率向上を目指す

京のブランド産品の主力品種「ゴールド二十世紀」の果実表面のあざ(汚れ)発生は、秀品率低下の要因となっています。この「あざ」は、果実の多湿条件と果実の急激な肥大が重なることで発生すると考えられています。

当所では、昨年の試験により満開後30日、60日、90日の3回、カルシウム資材を葉に散布することで、あざの発生を抑制できることを明らかにしました。

本年は、あざの発生抑制効果が高いカルシウム資材の散布時期を絞り込む試験に取り組んでいます。



満開30日後にカルシウム資材を葉に散布する様子

農林センター（丹後農業研究所）